

手賀沼親子自然観察会 2015-07-12



主催:手賀沼水生生物研究会、手賀沼流域フォーラム 後援:ノーバスネット

参加者数 75名 (大人27名、子供34名) スタッフ14名

講師:柄澤保彦さん、左村義弘さん

【プログラム】 講師の柄澤保彦さんからタモ網による魚採りのやり方の説明。
モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。
講師の左村義弘さんから、手賀沼の畔に生える植物と沈水植物の説明。
講師の柄澤さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、
外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのか、
どうやって手賀沼に来たのかなど。

観察できた生き物

【在来種】:コイ、ギンブナ、モツゴ、ヌマチチブ、ヨシノボリ類、メダカ、ドジョウ、スジエビ、
アオモンイトトンボ幼生、トウキョウダルマガエル幼生

【国内外来種】:ツチフキ、

【国外外来種】:タイリクバラタナゴ、カダヤシ、カムルチー、シナヌマエビ、アメリカザリガニ、
ウシガエル幼生

【感想】

・夏休み直前ということもあり、受付初日の3時間で定員いっぱい。そのためか当日参加の親子もあり、実際には参加者だけで70名は超えていたと思われる。

・突然の猛暑日となり、小さいお子さん連れの方は大変だった。テントとターフで日陰をつくって休憩所とし、大量のイオン水を準備したのが役に立った。

・時期のせいか魚種は少なめ。エビが数年でシナヌマエビに置換されたのが衝撃的

手賀沼親子自然観察会

2015年11月7日(土) 10:00~12:00

主催：手賀沼水生生物研究会、手賀沼流域フォーラム

後援：ノーバスネット

協力：柏環境ステーション

協力：我孫子野鳥を守る会

参加者数 35名 (大人17名、子供18名)

講師：柴田佳秀(科学ジャーナリスト)

スタッフ：14名 合計50名

観察できた生き物

モツゴ、タモロコ、メダカ、タイリクバラタナゴ、ギンブナorゲンゴロウブナ、ツチフキ、ドジョウ、ヨシノボリ類(クロダハゼ)、ヌマチチブ
シナヌマエビ、スジエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ
ウシガエル幼生、イトトンボヤゴ、コガムシ、サカマキガイ
マツモ、オオフサモ
ノスリ、ハシボソガラス、オオバン、カイツブリ





© t. momose



© t. momose

モツゴ



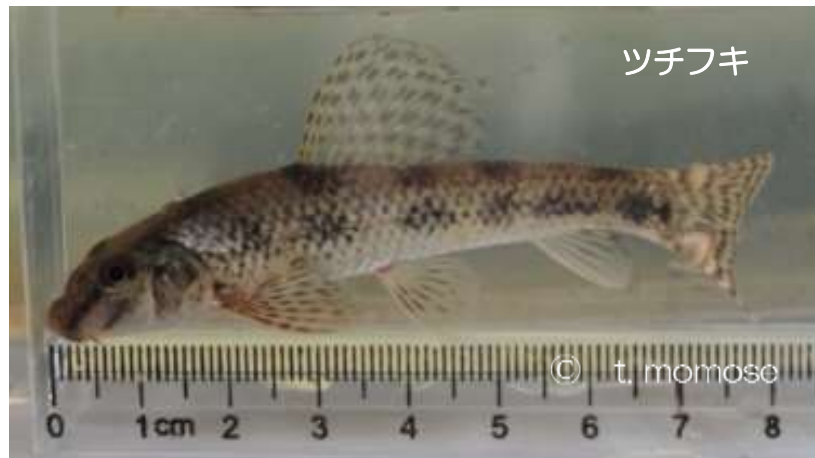
タモロコ



ギンブナorゲンゴロウブナ



ツチフキ



タイリクバラタナゴ



ドジョウ



ミナミメダカ



© t. momose

アジアイトトンボ or アオモンイトトンボのヤゴ



© t. momose

テナガエビ



© t. momose



マツモ

© t. momose

シナヌマエビ



© t. momose



オオフサモ

© t. momose